

第6学年 総合的な学習の時間 学習指導案

令和4年 10月28日 (金) 第5校時
場所 教室

1 単元名 「ぼくのわたしのSDGs」～チーム青毛 “SDGsプロジェクト”～(70時間)

2 単元目標

「SDGs」の内容の探究する活動を通して、世界各国で行われている「SDGs」の取組が多方面から行われていることや日本を含む世界各国が努力していることに気づき、課題の解決に向けて自分たちの考えをまとめ適切に表現するとともに、地域社会の一員や青毛小学校の一員として、自分たちができる「SDGs」の取組とは何かを探究し、生活や行動に生かすことができる。

3 児童の実態(省略)

4 教材について

小単元①「世界のSDGsを調べよう」では、テレビ等で聞き取る「SDGs」の内容を調べる活動をした。国連加盟している193の国が力を結集させて達成すべき目標であることをもとに、世界ではどのような取組が行われているのかを課題として設定した。調べたい国を選択し、本やインターネットを活用して調べる活動を行ってきた。「世界のSDGs発表会」を通して、学級全体で共有し、世界各国で取組を行い、努力されていることを実感した。

広い範囲である“世界”から調査を進めている中で、児童は自分たちの住む“日本”の取組に関心をもった。そこで、小単元②「調べよう、日本のSDGs」につなげた。この小単元②では、児童が「SDGs」をより自分事として捉えることができるように副題を考え、話し合った。それが、「みんなで未来を楽しく過ごすためにできることを話し合おう」である。児童は、「SDGs」が2030年までに達成すべき目標であることを理解している。「2030年という8年後は、みんなが20歳を迎える年になる」ということも伝えることで、今この教材で学習していることが、自分たちの未来にかかわる内容であるという意識を高めた。その上で、今から自分たちにもできる取組を探すために、世界や日本の取組からヒントを得るとい調べる活動を行う必要感を児童がもつことができるようにした。日本の様々な取組を調べた上で、実際に自分たちで実践するところまでを行う。この実践前には、児童同士が意見を交流し、「持続可能かどうか」「効果が高そうか」という視点で話し合いを行う。その後、自身で取り組んだものをまとめ、実践を終えた振り返りも踏まえた発表会を行う。

さらに、自分たちで考えたり、見付けたりした「SDGs」の取組を青毛小学校の一員として、青毛の誇りの最高学年として、全校に広めることを提示する。これを小単元③「青毛小学校で取り組むSDGs」と位置付け、どのような方法で広めたらよいかを考えていく。さらにここでは、積み重ねてきた知識をより発展するために、児童の取組を17のターゲットごとに分類し、同じターゲットごとにグループ分けを行う。個人で考え、実践してきた取組や調べる活動を通して考えた発信方法を持ち寄り、話し合い活動を行い、グループとしてのPR方法を考える。相手意識をはっきりと持つことで、調べた内容を精選したり、伝え方を工夫したりするなど、児童の思考がより深く、豊かなものになると考える。

目まぐるしく変化する社会に自分がどう貢献できるのか考えられる「未来のイノベーター」を育成するとともに、「持続可能な社会の創り手」として、青毛小学校全体で行う「SDGs」を計画し、実践し、発信までできる姿を下級生に見せることができるようにする。

5 研究主題との関連及び指導観

研究主題 「誰一人取り残さない教育の実現

～なかまとともに、輝く・輝ける子の育成を目指して～

仮説1 ユニバーサルデザイン化された授業の工夫は、すべての児童の主体性を伸ばすだろう。

仮説2 SDGs実現に向けたESDの取組から、児童一人一人の資質・能力を育むことで、持続可能な社会の担い手を育てることができるだろう。

【仮説1 ユニバーサルデザイン化された授業の工夫は、すべての児童の主体性を伸ばすだろう。】

具体的な学級全体への工夫場面に関しては、予想される児童の反応やつまずき(C)に応じて、本時指導案で記号(・)に示した。また、個に応じた指導の工夫場面に関しては、予想される児童の反応に応じて、本時の指導案で個別的な指導や補充的な指導として(★)の記号に示した。

①授業の焦点化への工夫

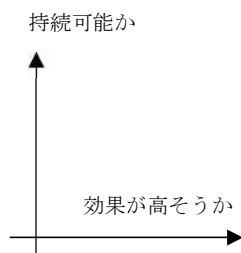
・ねらいを焦点化する。授業の始まりに1時間の中で何をすればよいのか、何ができればゴールなのかを

児童と確認し、やるべきことを明確にする。

- ・活動を焦点化する。見通しをもたせる際、活動の視点を絞る。また、個人で考える場面と話し合う場面を時間で区切る。

②視覚化や複線化の工夫

- ・何を話し合えばよいのかが不明瞭にならないよう、「今日の決め台詞」を事前に準備し、質問内容を黒板に貼り付けることで、いつでも誰でも話し合いを行うことができるようにする。
- ・ICTや考えるための技法（思考ツール）を活用し、グループ内での話し合い活動をより活発なものにする。（本時は座標軸）



③共有化の工夫

- ・授業の導入に、教師発案の実現不可能なアイデアを提示する。批判し合うことにより、話し合いの中で実現可能な取組の判断を、実生活に結び付けて考えられるようにする。さらに、些細な取組であっても、一人一人が実現可能なことを行うことが「SDGs」の達成につながることを繰り返し再認識する。

④児童の特別なニーズに応じた対応法の工夫 ※省略

【仮説2 SDGs実現に向けたESDの取組から、児童一人一人の資質・能力を育むことで、持続可能な社会の担い手を育てることができるだろう。】

①本単元に係る「協働的・探究的な学び」と達成が期待できる「SDGs」

ESDの要：総合的な学習の時間「ぼくのわたしのSDGs」（年間70時間）

探究課題：科学技術の進歩と自分たちの暮らしの変化（科学技術）

実社会で働く人々の姿と自己の将来（キャリア）

目標11「住み続けられるまちづくりを」目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」



②年間で育む主な資質・能力

- ・探究課題に対して多面的な視点で探究活動を行うことで、地域の特徴やよさに気付き、探究課題に対する自分なりの概念形成を図ることができる。
- ・考えたことを、思考ツールを活用し、根拠を基に表現することができる。（思考ツールの活用）
- ・考えたことを分かりやすく表現することができる。（タブレット等を活用したプレゼンテーション能力）

③本単元で働かせるESDの視点

【6つの視点から】

- I 多様性（いろいろある）
- II 相互性（関わり合っている）
- V 連携性（力合わせて）
- VI 責任性（責任を持って）

【7つの能力・態度から】

- ① 批判的に考える力
- ③ 多面的、総合的に考える力
- ⑤ 他者と協力する態度

※出典

国立教育政策研究所「学校における持続可能な発展のための教育（ESD）に関する研究〔最終報告書〕」

「SDGs」という内容を踏まえたこれからの生活や未来への過ごし方について考えよう。

○「ぼくのわたしのSDGs」プレゼンテーションを市内外へ発信する。

○青毛小学校の全校児童に向けて、みんなでできる「SDGs」のPR報告会をする。

○青毛小学校の全校児童に向けてのPR報告会の準備をする。
 ・実践した成果も交えて発表したいね。
 ・低学年の子にも分かるように、使う言葉を考えたいね。

課題の設定

まとめ・表現

まとめ・表現

整理・分析

情報収集

課題の設定

○自己の生き方に結び付け、キャリアパスポートに記す。

○青毛小学校で取り組む「SDGs」について、ターゲットごとのグループで考える。
 ・電気の大切さを全校に向けて提案したいね。
 ・まずは自分達で取り組んで検証しよう。

○青毛小学校で取り組む「SDGs」について考える。
 ・「SDGs」達成に向けて、青毛小学校みんなで取り組みたい。

小単元③ 青毛小学校で取り組むSDGs

○「自分達にできる取組」の実践報告会を行う。
 ・ガイドブックを作って読んでもらったけれど、全校には広まってないね。

○日本の都道府県や企業の「SDGs」の取組を調べる。
 ・埼玉県を取組を調べたい。
 ・自動車企業の取組を調べたい。

○日本の「SDGs」の取組について考える。
 ・日本では、どのような「SDGs」の取組があるのだろうか。

まとめ・表現

整理・分析

課題の設定

整理・分析

情報収集

課題の設定

○調べたことから、「自分たちにできること」を見付ける。
 ・節水で水を流す時間を短くすることができそう。
 ・SDGsガイドブックを作って、みんなに読んでもらいたい。

小単元② 調べよう、日本のSDGs ~みんなで未来を楽しく過ごすためにできることを話し合おう~

○「世界のSDGs発表会」をする。
 ・世界では多くの国が「SDGs」の取組を行っていたよ。

○調べたことを整理する。
 ・リサイクルが盛んな国があるよ。

フィンランドって何位なの？
 まず、フィンランドの2020年と2021年の順位について調べてみた。(フィンランド...赤)
 2020年...3位 83.8点 1位デンマーク 84.6点
 2021年...1位! 85.9点 3位デンマーク 84.86点

SDGsとは?
 2030年までに達成できることを目的とした持続可能な開発目標のことである。

デンマークの成果
 デンマークは世界のSDGsの中で上位に輝くほどSDGsによく取り組んでいます。(協力しています)
 デンマークは、オーガニック食材を使ってSDGsに協力する他、ペットボトル、缶などをリサイクルしています。

整理・分析

情報収集

課題の設定

○調べたい国の「SDGs」について調べる。
 ・そもそもSDGsとは?
 ・本やインターネットで調べよう。

○世界の「SDGs」の取組について考える。
 ・世界では、どのような取組が行われているのか調べたい。

小単元① 世界のSDGsを調べよう

○「SDGs」について知っていることを話し合う。
 ・テレビで「SDGs」について見たことがあるよ。


7 単元の評価規準

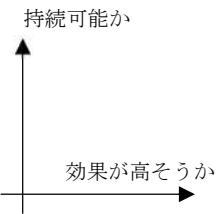
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>① 「SDG s」の取組が世界や日本で行われていることを理解するとともに、その取組を続けている人や組織の存在、思いに気付いている。</p> <p>② 「SDG s」に対して、多面的な視点で自分たちにできる取組を選び、実践している。</p> <p>③ 「SDG s」と自分たちの生活には関連があることの理解は、「SDG s」を探究的に学習してきたことの成果であると気付いている。</p>	<p>① 「SDG s」について、世界や日本の現状や身近な生活から課題を設定し、解決に向けて自分たちにできることを明確にしながらか計画を立てている。</p> <p>② 「SDG s」の課題を解決するために必要な情報や手段について、選択して収集している。</p> <p>③ 「SDG s」の活動を進めるために、事象を比較したり関連付けたりして、理由や根拠を明らかにし、具体的な活動を決定している。</p> <p>④ 「SDG s」の達成に向けた自分の考えを表現方法の特徴や表現の目的に合わせて分かりやすくまとめ、表現している。</p>	<p>① 「SDG s」に関心を持ち、自分自身の生活を見つめ直し、探究的な学習に取り組もうとしている。</p> <p>② 「SDG s」の探究活動を通して得た知識や友達の考えを生かしながら、協働して課題の解決に向けて取り組もうとしている。</p> <p>③ 自分と「SDG s」とのつながりに気付き、探究的な学習を基に「自分にできることは何か」の視点をもって活動し、自分の思いや考えを振り返って今後の自分について考え、その行動を広めようとしている。</p>

8 単元の指導計画と評価計画（70時間）

※「課題」：課題の設定 「情報」：情報の収集 「整理」：整理・分析 「表現」：まとめ・表現

過程	○学習活動 ・児童の思考	・指導上の留意点 ○評価（評価方法）	資源の活用 ○（人的リソース） ■（物的リソース） ※教科横断の視点
課題	<p>○オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元のねらい、内容や計画を確認する。 <p>○「SDG s」について知っていることを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> テレビで「SDG s」について見たことがある。 <p>○世界の「SDG s」の取組について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> そもそも「SDG s」とは何だろうか。 世界の「SDG s」事情はどうなっているのだろうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元の大きな流れについて講義形式で提案する。 児童のこれまでの生活経験から「SDG s」について知っていることを出し合うようにする。 ○思・判・表①（活動の様子・学習ポートフォリオ）態②（活動の様子） 調べたい国の決定に関しては、興味・関心のある国、「SDG s」が盛んな国のランキングを基にした国など、児童の興味に任せ、納得いくまで課題解決に臨めるようにする。 ○思・判・表①（活動の様子・学習ポートフォリオ）態①（活動の様子） 調べたい国が決まりつつある段階で、学級の中で共有し、調べたい国が決まっていなかった児童の一助となるようにする。 ○知・技①（活動の様子）態①（活動の様子・学習ポートフォリオ）思・判・表②（活動の様子・Google スライド・学習ポートフォリオ） 調べたことの整理・表現は、「Google スライド」を活用する。 「世界のSDG s発表会」を行うことを 	<p>■SDGsCONNECT 「SDGs の世界の取組」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">QR コード は省略</div> <p>■国連広報センター「2030 アジェンダ」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">QR コード は省略</div> <p>※国語科 「情報と情報をつなげて伝えるとき」 「私たちにできること」</p>
情報	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちにもできそうなことはあるのかな。 <p>○調べたい国を決める。</p> <p>○調べたい国の「SDG s」について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本やインターネットで調べる。 		
整理	<p>○調べたことを整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉やイラスト、写真を使って整理する。 		

<p>表現</p>	<p>○「世界のSDGs発表会」をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな国独自の取組がある。 ・国によって取組内容には違いがあり、その国の文化に合う取組を行っている。 	<p>伝え、収集した資料の選定を行い、何をどのように発表するのかを考えることができるようにする。</p> <p>○思・判・表③ (Google スライド)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラス全体で共有して、いろいろな国の取組があることに気づき、次の活動の見通しをもつことができるようにする。 <p>○知・技③ (学習ポートフォリオ・動画記録)</p> <p>態③ (学習ポートフォリオ・動画記録)</p>	
<p>課題</p> <p>情報</p>	<p>○日本の「SDGs」の取組について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本では、どのような「SDGs」の取組があるのだろうか。 <p>○テーマの副題「みんなで未来を楽しく過ごすためにできることを話し合おう」について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今から8年後までに達成を目指すものだから、自分たちがちょうど20歳になる頃のことを考えるんだね。 <p>○日本の都道府県や企業の「SDGs」の取組を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本にも「SDGs」ランキングがあるかもしれない。 ・埼玉県の取組を知りたい。 ・自分たちが住んでいる久喜市の取組を知りたい。 <p>○埼玉県の「SDGs」の取組を知る。</p> <p>○久喜市の「SDGs」の取組を知る。</p>  <p>「久喜市SDGsマップ」の図は省略</p>	<p>・世界から日本へと段々視野を狭くして考えていくことを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最終的には、「青毛小学校で取り組むSDGs」につながることを再確認し、目的意識を色濃いものにする。 ・学習していることが、自分たちの未来にかかわる内容であることを感じられるようにし、学習への必要感をもつようにする。 <p>○思・判・表① (活動の様子・学習ポートフォリオ)</p> <p>態① (活動の様子)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料を集めるときには、大きなトピックを提示し、誰もが調べ学習を進めることができるようにする。 <p>【トピックの内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① どこで/誰が行っているのか。 ② どんな思い・願いから行っているのか。 ③ 取組内容 ④ 成果と課題 ⑤ 真似できそうな取組 <p>○知・技① (活動の様子)</p> <p>思・判・表② (活動の様子・Google スライド・学習ポートフォリオ)</p> <p>態① (活動の様子・学習ポートフォリオ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の住む地域について調べる児童が少ない場合には、第3・4学年の社会科で学習してきたことを想起させ、埼玉県や久喜市の自然環境や文化だからこそ行われている「SDGs」に対する取組を知る時間を取り、調査の一助とする。 ・国語科「私たちにできること」で学んだ知識・技能や調査した内容も踏まえながら調べ活動を進めることを促す。 ・「持続可能かどうか。」「効果が高そうか。」という2つの視点で考えるための技法である「マトリックス」を活用し、整理できるようにする。 	<p>■栗橋地区開拓の市役所・企画政策課</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">QR コード は省略</div> <p>■外務省「JAPANSDGs ActionPlatform」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">QR コード は省略</div> <p>■出版社のホームページ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">QR コード は省略</div> <p>■STEAM ライブラリー「次世代都市づくり」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">QR コード は省略</div> <p>○埼玉県総合教育センター 企画調整担当</p> <p>○久喜市教育委員会 企画政策課</p> <p>※国語科「私たちにできること」</p> <p>※算数科「データの活用」(STEAM)</p>

<p>整理</p> <p>表現</p> <p>課題 (本時)</p> <p>情報</p> <p>表現</p>	<p>○調べた取組の中で「自分たちにできる取組」を見つける。</p> <p>○整理したことをまとめる。</p> <p>○整理したことを友達と交流し、「自分たちにできる取組」の内容を練り上げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本にはこんな取組をしている都道府県もあるから、参考にできるかもしれないね。  <p>○「自分たちにできる取組」の実践計画を立て、選択する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 期間を決定して、実践したいな。 準備は何が必要かな。 <p>○「自分たちにできる取組」の内容を実践する。</p> <p>○「自分たちにできる取組」の実践を振り返り、スライドにまとめる。</p> <p>○「自分たちにできる取組」の実践報告会を、スライドを活用して行う。</p>	<p>・「クラゲチャート」を使い、整理した情報を関連付けながら自分たちにできる取組を考えられるようにする。</p> <p>○思・判・表④ (思考ツール)</p> <ul style="list-style-type: none"> 話合いの中では、まとめた「クラゲチャート」を活用させる。 誰もが話合いに参加できるように、「持続可能かどうか。」「効果が高そうか。」という2つの視点に絞り、「座標軸」を活用した話合いをする。 持続可能かどうか、効果が高そうかどうかという視点を重視し、選択できるよう促す。 <p>○思・判・表① (活動の様子) 態② (活動の様子・学習ポートフォリオ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 取組の実践のために、期間の設定や必要なものなどを考える。 何のために取組を行うのかを意識させるとともに、目的に合わせて児童が主体的に計画できるよう促す。 <p>○知・技② (活動の様子・学習ポートフォリオ) 態② (活動の様子・学習ポートフォリオ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全に配慮し、計画に沿って実践ができるよう促す。 <p>○態② (活動の様子・動画記録)</p> <ul style="list-style-type: none"> 取組内容や成果、課題などを自分なりの方法でまとめることができるようにする。 <p>○知・技③ (学習ポートフォリオ) 思・判・表④ (Google スライド・動画記録)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学級全体で共有して、身近な生活の中でも様々な取組を行うことができることを知り、次の活動の見通しをもてるようにする。 <p>○知・技② (学習ポートフォリオ) 態② (学習ポートフォリオ)</p>	<p>※英語科 「My Best Memory.」</p>
<p>課題</p> <p>情報</p>	<p>○青毛小学校で取り組む「SDGs」について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分たちが取り組んできた節電を、青毛小学校全体で取り組んでみたいな。 <p>○青毛小学校で取り組む「SDGs」についてターゲットごとのグループで考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 低学年のみんなも持続できそうな取組は無いか探したい。 自分たちが取り組んで効果の高かった、裏紙の再利用を全校でもやってみよう。 	<p>・目標別で青毛小学校で取り組むことができそうな内容に絞れるよう、話合いの方向性を示す。</p> <p>○思・判・表① (活動の様子・学習ポートフォリオ) 態① (活動の様子)</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでに調べてきた内容を持ち寄ることで、より多面的に話合いを行う。 調べたことをまとめるときには、考えるための技法 (思考ツール) を活用できるように促す。 <p>【活用する思考ツール】座標軸、ピラミッドツール、クラゲ・チャート</p> <p>○知・技② (活動の様子) 思・判・表② (活動の様子・思考ツール)</p>	<p>■市内小・中学校の実践</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">QR コード は省略</div> <p>■久喜市のSDGs発表会</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">QR コード は省略</div>

<p>整理</p> <p>表現</p>	<p>○青毛小学校に向けてのPR報告会の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組の実際の写真があるとよいかもしれないね。 ・実際に取り組んでもらった下級生にインタビューをしてみるのはどうかな。 ・効果はグラフで表せると、説得力があるね。 ・青毛小学校全員で取り組んだ成果を「数値」を使ってアピールしよう。 <p>○みんなのできる「SDGs」の取組の紹介のクラス内リハーサル会をする。</p> <p>○青毛小学校に向けて、みんなのできる「SDGs」のPR報告会をする。</p> <p>○「ぼくの わたしのSDGs」プレゼンテーションをする。 場所：モラージュ菖蒲 滝のコート</p>	<p>態②(活動の様子・学習ポートフォリオ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞、ポスター、CMなど、表現方法の特性について話し合い、伝える対象や目的に合った表現方法を選択できるようにする。 ・調べた内容を精選して紹介できるように、どんな取組をどのように伝えるのかを考えることができるようにする。 <p>○思・判・表③(活動の様子・学習ポートフォリオ)</p> <p>態②(活動の様子)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画、準備してきた内容をクラス内のグループで見合う活動を通して、よりよいPR活動の練り上げを行う。 <p>○態②(活動の様子・学習ポートフォリオ・スクラッチ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PR報告の様子を撮影し、ほかの学級がICTを活用して閲覧できるようにする。 <p>○知・技③(学習ポートフォリオ)</p> <p>思・判・表④(活動の様子・学習ポートフォリオ・Google スライド・動画記録)</p> <p>態③(活動の様子・学習ポートフォリオ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の成果を生かしながら、「SDGs」という内容を踏まえたこれからの生活や未来への過ごし方について広く市内外への発信をする。 <p>○知・技③(学習ポートフォリオ)</p> <p>思・判・表④(活動の様子・学習ポートフォリオ・Google スライド・動画記録)</p> <p>態③(活動の様子・学習ポートフォリオ)</p>	<p>※理科 「人と環境」 (STEAM)</p> <p>※国語科 「今、私は、ぼくは」</p> <p>※社会科 「世界の未来と日本の役割」</p> <p>■SMILE TECH ホームページ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>QR コード は省略</p> </div> <p>(STEAM)</p> <p>■SDGsCONNECT 「SDGs の世界の取組」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>QR コード は省略</p> </div>
<p>表現</p>	<p>○学習の成果を生かしながら、「SDGs」という内容を踏まえたこれからの生活や未来への過ごし方について自分の人生や将来について考えよう。</p> <p>○「SDGs」という大きな達成目標に対して、自分ができることや考えたことをキャリアパスポートに記し、表明する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単元を通して学習してきたことを想起しながら、学んだこと、考えたことを書けるようにする。 ・改めて、自分の未来に大きくかかわっている学習内容であることを意識づける。 <p>○知・技③(学習ポートフォリオ)</p> <p>態③(学習ポートフォリオ)</p>	

9 本時の学習指導（本時 34時/70時）

(1) 目標

自分たちにできる「SDGs」の取組の決定をするための話し合い活動を通して、自分の考えをまとめたり友達の考えと比べたりして、「自分たちにできる取組」を考えている。

(2) 展開

学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点（・）評価（□）特別な支援の工夫（★）	時間
<p>1 前時までの学習を振り返り、単元のゴールを確認する。</p> <p>2 本時のめあてを確認する。</p>	<p>・前時までの個人で調べてきた自分達にできる「SDGs」の取組について情報収集したものや整理したものを振り返り、児童一人一人が現時点での考えを再認識する。</p> <p>・テーマの副題「みんなで未来を楽しく過ごすためにできることを話し合おう」を掲示して視覚的に強調し、何のために調査を行っているのかを全員に意識づけるようにする。</p> <p>★意図的な指名をし、学習のスタートをそろえる。</p> <p style="text-align: right;">【仮説1 焦点化】</p>	<p>1</p> <p>2</p>
<p>話し合いを通して、自分たちにできる「SDGs」の取組を考えよう。</p>		
<p>3 本時の課題解決のための見通し（学びの過程とゴール）と活動内容を確認する。</p> <p>4 学級全体で教師の考えた取組内容について話し合う。 T：消費期限が1ヶ月過ぎた食品を、もったいないので、加熱して食べるのはどうでしょう。 C：それは無理だよ。 C：食べたら体調を崩してしまうから、絶対無理だよ。 T：無理なことはわかりました。では、どう見直したらいいでしょう。 C：消費期限が過ぎないようにする。 C：計画を立ててから買い物をする。 C：期限内の食材も簡単に残菜とせず、調理方法を工夫して食べる。</p>	<p>・本時の見通しとして、調べた取組を実現できるものにするために、①持続可能な取組にすること、②取組内容の効果が高そうなものであることを確認する。 【仮説1 焦点化】</p> <p>・しかけとして、教師が事前に用意した実現が難しい取組内容を学級全体に向けて提案することで、以下の2点をねらいとする。 ① 児童が、話し合い活動の際に発表する実現可能な取組内容を自分で選ぶための判断材料にする。 ② 話し合い活動の流れを全体で共有する。 【仮説1 共有化・協働】</p> <p>・ここでは、考えてきた取組内容を否定するのではなく、「本当にできるのか」「どう見直しをすれば実現可能な取組となるのか」という視点をもった話し合いをすることを意識づける。 【仮説2】ESDの視点①・③</p> <p>・児童から実現可能な代替案が出た場合には教師が大いに称賛し、話し合いのゴールの見通しをもつことができるようにする。</p>	<p>5</p> <p>3</p>
<p>5 個人で話し合いの準備をする。 T：どんな取組をグループのみんなと話し合うか準備します。これまで調べた資料も活用しましょう。 C：ガイドブックを作りたいな。 C：節電の取組にしよう。 C：決まらないな。</p>	<p>・まずは個人で話し合いの準備をする。これまでに調べ、整理してきたことをもとに話し合いを行うので、活用してきた考えるための技法を手元に準備する。これにより、児童一人一人の考えの可視化・操作化ができるようになり、話し合いを活性化することをねらいとする。 【仮説1 焦点化】</p> <p>★つまずきが予想される児童には、何をどのように発表するのかを聞き取り、自信をもって話し合いに参加できるようにする。</p>	<p>3</p>
<p>6 3～4人グループで取組内容について話し合う。 C：着られなくなった衣類を雑巾にすれば、持続可能で効果も期待できそうだね。 C：ガイドブックを作成して、教室で保管できるようにすれば、今後も使えて持続可能にできるね。</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;"> <p>持続可能か</p> <p>↑</p> </div> <div style="margin-right: 10px;"> <p>効果が高そうか</p> <p>→</p> </div> </div>	<p>・各グループの中で、①「持続可能かどうか。」②「効果が高そうか。」という2つの視点で話し合いが行われるよう考える技法の「座標軸」を活用し、意識するようになる。</p> <p>・今日の決め台詞として①「持続可能かな？」②「効果は高そうそうかな？」という2つのカードを黒板に掲示したままにし、いつでも誰でも話し合いに活用できるようにする。【仮説1 視覚化】</p> <p style="text-align: right;">【仮説2】ESDの視点①・⑤</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【思考・判断・表現①】 〈評価方法〉活動の様子</p> <p>・自分の考えをまとめたり友達の考えと比べたりして、「自分たちにできる取組」を考えている。</p> </div>	<p>28</p>

<p>7 話し合ったことをもとに、取組内容の決定を行い、全体で共有する。 C：低学年向けと高学年向けの2種類のガイドブックの作成をして「SDGs」の取組を発信することで、より効果が期待できると思いました。 C：手洗いうがいをきちんとすることや防災への備えをすることなど、身近な取組も「SDGs」の取組の1つであることを広めたいです。</p> <p>8 本時のまとめと振り返りを行う。 C：自分では完璧だと思っていたものでも、友達に意見をもらうことで、実現できなさそうなところがありました。話し合っただけです。 C：自分が考えていた取組に共感してもらえたことがうれしかったです。</p> <p>9 次時の予告をする。</p>	<p>【主体的に学習に取り組む態度②】※単元を通しての評価 〈評価方法〉学習ポートフォリオ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・B評価：話し合い活動を通して、持続可能な取組や効果が高そうな取組を考えようとしている。 ・A評価：話し合い活動を通して、自分が考えた取組を見直し、よりよいものにしていくとしている。 <p>・意図的に指名し、自分ではよいと思った内容でも、見方が変わると素晴らしさや課題などが分かることに気付くようにする。</p> <p>・話し合い活動の様子を振り返り、進んで相手の考えを認める様子や友達から考えを認められた時の温かさにも触れる。</p> <p>・次時は本時で考えた取組の計画を行うことを伝える。どのように実現していくか、何を準備したらよいかを伝え、期待を高める。</p>	<p>5</p> <p>1</p>
---	---	-------------------

10 板書計画

調べよう、日本のSDGs ～みんなで未来を楽しく過ごすためにできることを話し合おう～

単元をつらぬくめあて

8年後の未来のために、自分たちができる「SDGs」の取組を見つけよう。

④話し合いをとおして、自分たちにできる「SDGs」の取組を考えよう。

○学習の流れ

- ① 個人で話し合い準備
- ② 話し合い
- ③ 考えの見直し
- ④ まとめと振り返り

【先生の考えた取組】
消費期限が1ヶ月過ぎた食品は、もったいないので加熱して食べる。

➡

【見直した取組】

- ・計画を立ててから買い物をし、食品ロスをなくす。
- ・期限内の食材も、簡単に残菜とせず、調理方法を工夫する。

※決め台詞

①「持続可能かな？」 ②「効果は高そうかな？」

1 1 ワークシート

- ① 学習ポートフォリオ・メモ・発表スライド (Google スライドに記入)
- ② にれの木 振り返り記入シート (Google スライドに記入)

スライド1枚目

スライド2枚目

にれの木タイム 振り返りカード

年 組 () 名前 ()

学習の足跡を、振り返りカードに残そう。

〈振り返りの視点〉

- ①今日の学習でわかったこと。
- ②今日の学習でわからなかったこと、もっと知りたいこと。
- ③これまでの自分はどうだったのか。
- ④学習を通して、考えが変わったこと。
- ⑤これから自分はどうしたいのか。どう生活したいのか。
- ⑥次の時間で活動したいこと。

スライド3枚目

月 日 () ※このスライドをコピーして使います。

○今日の活動内容・成果

.

○振り返り

1 2 予想される児童の考えの変容

話し合う前の児童の考え	話し合い後に期待される児童の考え
ガイドブックの作成	誰に向けたどんな内容にするのか。 (例) 低学年に向けたふりがな付きのものを2部つくる。
防災に備える	いざという時の集合場所を家族で決めておく。
節電	移動教室の時は、必ず電気を消す。
節水	歯みがき、掃除の時間には、水の出しっ放しをなくす。
給食を残さず食べる。	苦手なものでも、食べる量を決めて食べる。
着られなくなった服をリサイクルに出す。	いつ、どこに出せばよいのか。 持続可能な内容か検討したい。
自分の好きなことに自信をもち、個性を認める。	これがSDGsのどこにつながるのか踏まえない。 10番につながる。
SDGsの認知度を上げる。	そのために何をすればよいのか。
ポスターにできることを周知し、実施してもらう。	どんな内容をどこに掲示するのか。
手洗い・うがいを徹底し、健康に過ごす。	ぜひ実践につなげたい。
青毛の森を守る。	青毛の森を守るため、何ができるのかを追究したい。
SDGsに関するゲームを作る。	実現可能なものかどうか。
青毛小独自のSDGsマークを作成する。	ぜひ実践につなげたい。
SDGs青毛小ビジョンをつくり、周知する。	内容の追究をしたい。
集会委員会として、学習したことを「SDGs集会」で全校に周知する。	ぜひ実践につなげたい。
放送を活用して、自分たちにできそうな取組を紹介する。	「手洗い・うがいをする事」や「相手の個性を認めること」が、SDGsにつながることを放送する。 (身近な取組にしたい。)
困っている人がいたら、声をかける。	ぜひ実践につなげたい。